

(別記)

2019 年度黒石市農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市では、水田面積の約6割を、主食用米が占めており、米を基幹とした水田農業が展開されている。

主食用米は、「つがるロマン」「まっしぐら」を中心に作付が行われているが、少子・高齢化等による需要の減少が見込まれる中で、業務用米等の様々なニーズに対応しながら、米の需給均衡を図る必要がある。

一方、非主食用米は稲作の多収技術や既存機械をそのまま活用できることから、飼料用米を中心に推進し、今後は主食用米の割合を非主食用米に向けられるかが重要になってくる。

また、水稻以外の土地利用作物では、小麦の作付が多いものの、単収や品質において、気象条件等による年次較差が大きく、実需の要望に対応しきれていない状況にあり、品質及び収量の安定化が必要となっている。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

売れる米づくりの徹底によって県産米の主産地としての地位を確保する。

また、農薬節減米等と特A評価「青天の霹靂」の作付拡大を図り、消費者の求める、安全・安心な米の生産と安定取引の推進を図る。

また、業務用米等への対応など、中食・外食に使用される県産銘柄米生産を推進し、需要の維持・拡大につなげる。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

飼料用米の本作化や生産拡大にあたっては、県設定・地域設定の産地交付金を活用し、多収品種の導入を図るとともに、生産コスト低減の取組を促進し、県が推奨する生産性向上技術を推進して作付面積の拡大を目指す。

イ 米粉用米

取組なし

ウ 新市場開拓用米

主食用米の国内需要が減少する中、県設定の産地交付金を活用し、国内外のコメの新市場の開拓を図り、実需者との結びつきを強化しながら、安定した供給を目指す。

エ WCS 用稲

取組なし

オ 加工用米

取組なし

カ 備蓄米

非主食用米の一用途として、買入入札における本県の優先枠や他の非主食用米の需要動向等を踏まえ、状況に応じた的確な生産を行う。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、需要に応じた生産を図るため、現行の生産量を維持する。

また、生産体制の強化に向けて、地域設定の産地交付金の活用により、排水対策等の技術対策の実施による収量・品質の高位安定化を推進するとともに、担い手への農地集積や生産の組織化・団地化を通じた機械・施設の効率的利用による生産コストの低減を推進する。

大豆、飼料作物については取組なし。

(4) そば、なたね

そばについては、県設定・地域設定の産地交付金の活用により、需要に応じた生産の維持・拡大を推進するとともに、水田機能の維持のため、不作付地への誘導を図る。

なたねについては取組なし。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

地域設定の産地交付金の活用により、重点品目や振興作物等の生産拡大を図るとともに、安定販路を確保しつつ、水田農業の収益力向上を図る。

(6) 畑地化の推進

取組なし

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	1,399.2	1,277.6	1156.0
飼料用米	6.2	7.2	8.2
米粉用米	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.1	0.1
WCS用稲	0.0	0.0	0.0
加工用米	1.8	0.0	0.0
備蓄米	27.1	38.6	50.0
麦	51.3	54.8	58.3
大豆	1.9	1.5	1.0
飼料作物	0.0	0.0	0.0
そば	9.7	10.9	12.1
なたね	0.0	0.0	0.0

その他地域振興作物			
野菜計	106.8	118.5	128.3
グループ1 (トマトほか4品目)	44.8	49.1	53.0
グループ2 (ダイコン、ニンジン)	18.3	21.1	23.7
グループ3 (エダマメほか29品目)	43.7	48.3	51.6
花き・花木	4.4	5.7	7.0
果樹計	198.2	201.5	204.8
リンゴ	188.6	191.5	194.5
ブドウ	5	5.1	5.3
ブルーベリー	2.2	2.3	2.3
オウトウ	1.1	1.3	1.4
モモ	1.1	1.1	1.1
カシス	0.2	0.2	0.2
ブラックベリー	0	0	0

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度(実績)	目標値
1	作物振興助成(グループ1)	作物振興助成	助成対象作物の 取組面積	(2018年度)34.6ha	(2020年度)36.9ha
1	作物振興助成(グループ2)	作物振興助成	助成対象作物の取 組面積	(2018年度)15.7ha	(2020年度)16.8ha
1	作物振興助成(グループ3)	作物振興助成	助成対象作物の 取組面積	(2018年度)19.8ha	(2020年度)21.1ha
2	小麦	戦略作物収量向 上助成	取組面積	(2018年度)51.3ha	(2020年度)58.3ha
			10a当たりの収量	(2018年度) 97.8kg/10a	(2020年度) 145.0kg/10a
3	そば	土地利用型作物 収量向上助成	取組面積	(2018年度)9.7ha	(2020年度)12.1ha
			10a当たりの収量	(2018年度) 36.8kg/10a	(2020年度) 42.8kg/10a

4	飼料用米 (多収品種)(直播栽培)	飼料用米生産コスト低減助成	取組面積 10a 当たりの生産コスト	(2018 年度) 6. 2ha (2018 年度) 101, 300 円/10a	(2020 年度) 8. 2ha (2020 年度) 98, 382 円/10a
---	----------------------	---------------	-----------------------	---	--